※令和４年度以降入学生用

学校番号	106

令和８年度　国語科

教科	国語科	科目	現代の国語	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	新　現代の国語（桐原書店）						
副教材等	「新国語総合ガイド　六訂版」啓隆社 「入試漢字コア２８００」桐原書店 「「読む」から「読み解く」へ　つなげる現代文」数研出版						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・日々変化する社会が抱える問題やテーマを知り、自分がどのように考え行動すべきかを考えましょう。
・基礎的な読解力と文章構成力を養いましょう。
・多くの語彙を身につけましょう。
・家庭学習が必須となります。分からない言葉を辞書で調べたり、文章に対して自分なりの考えをまとめたりすることが授業の事前準備として必要です。計画的に学習する習慣をつけましょう。
・話し合いや文章記述や発表など、アクティブな活動を取り入れた授業を行います。

2　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
(1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付ける。
(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との意見交換を経て自身の考えをスムーズに伝達する技術を磨く。
(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	実社会に必要な国語の知識や語彙・文法を正しく用いる技能を身に付けている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の 各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、要点を捉え解説する能力と自身の意見を他者に伝達する能力とが身についている。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたって読書に親しみさまざまな資質を向上させ、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1学期	言葉に表す ［教材］ 「ふしぎと人生」河合隼雄 「あなたの「世界」を変えるかも」穂村弘	a：常用漢字の音訓を正しく読み、語句の意味調べを通して語彙を増やす。 b[読]：評論文における対比構造の働きや見解の根拠の提示方法を本文から読み取ることができる。 c：読み手や聞き手を意識しながら、見たことや感じたこと、考えたことを言葉に表現することができる。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査	ワーク
	視点を変える ［教材］ 「星の目で見る」阿部雅世 「マヨネーズの穴から」原研哉	a：文章の内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えることができる。 b[話/聞]：筆者の主張を読み取ることで、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、他者に自分の意見が伝わるように話すことができる。 c：普段と異なる視点から物事を見て、固定されがちな考えを揺さぶることができる。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査	ワーク
2学期	他者と向き合う ［教材］ 「わかろうとする姿勢」鷲田清一 「アラビア語を学ぶ」岡真理	a：一般論に対する筆者の主張を読み取る。 b[読]：文章の内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉え、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めることができる。 c：立場の違い、時代や文化の違い、価値観の違いなどを踏まえて、他者を意識しながら現代社会の諸課題を捉えることができる。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査	ワーク
	問いを立てる ［教材］ 「サイボーグとクローン人間」山崎正和 「ゆらぎ」内山節	a：筆者の問題提起と主張を適切に捉えることができる。「近代」のあり方について、筆者の見解を正確に理解する。 b[話/聞]：科学技術の発達と人間との関係についてについて考え、他者に自分の意見が伝わるように工夫して話すことができる。 c：物事を観察して矛盾を発見し、問いのかたちにして考えることができる。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査	ワーク
3学期	論理を組み立てる ［教材］ 「経済の論理／環境の倫理」岩井克人	a：本文における筆者の主張と、その根拠とする内容との関係を捉えることができる。 b[書]：文章の内容や構成、展開を的確に捉えたうえで、自分の主張が効果的に伝わるよう、文章構成や語句に注意して表現を工夫することができる。 c：論理の組み立て方を身につけて、考えをわかりやすく伝えることができる。世代間倫理や資源の有限性から、環境問題を考えることができる。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査	ワーク
	常識を問い直す ［教材］ 「AIの判断」船木亨	a：時流をふまえ現代の重要なキーワードとなる語句について、その意味や問題の傾向を把握している。 b[読]：文章の内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えることができる。社会問題に対して独自のテーマを設定し、問題提起と自身の考えを発表できる。 c：当たり前とされがちなことを批判的に問い直して、新しい考えを得ることができる。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査	ワーク

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

※令和４年度以降入学生用

・話すこと／聞くこと　…　（　20　）時間

・書くこと　…　（　30　）時間

・読むこと　…　（　20　）時間